

Title	慶應義塾と曾禰中條建築事務所に関する基礎的研究
Sub Title	Basic study on Keio University and Sone & Chujo, Architects
Author	都倉, 武之(Tokura, Takeyuki)
Publisher	慶應義塾大学
Publication year	2024
Jtitle	学事振興資金研究成果実績報告書 (2023.)
JaLC DOI	
Abstract	曾禰達蔵、中條精一郎によって開設された曾禰中條建築事務所は戦前最大最良の民間設計事務所と言われ、1912年竣工の慶應義塾図書館（旧館）はその代表作とされる。また慶應義塾においては同事務所の設計による建物が図書館を含め7棟現存している。これらは従来、その近代西洋建築としての芸術的、あるいは建築史的な価値が注目されてきた。その対象は現存建築が主で、拡大されても大講堂（1915年竣工、1945年焼失）が加わる程度であった。 本研究では、同事務所設計の慶應義塾関係の全建物にまで調査対象を拡大し、①その全容を把握すること、②それらに如何なる特徴があり、その特徴が如何なる思想的背景を反映していると考えられるかを検討することを目的とした。 ①については、慶應義塾図書館以前の諸建築の記録を丁寧に検討し、曾禰中條建築事務所の最初の慶應義塾関係建築が第六館（1909年竣工、1945年焼失）であることを確定。またそれ以前の建築にも曾禰達蔵が関与していること、曾禰のあと三菱の建築技師を継承した保岡勝也、福沢お気に入りの大工棟梁として知られる金杉大五郎、ジョサイア・コンドル門下で福沢門下でもある藤本寿吉へと、設計者の系譜を遡って行くことができることが明らかになった。最終的に曾禰中條建築事務所設計の建物は30件以上を数えることができ（病院建築は全て接続しているため数え方が変動する）、中條精一郎が個人で担当した可能性がある建物として野球部合宿所を新たに数えることができることも判明した。そしてそれらの建築の多くは何らかの図面が管財部に保管されていることも明らかとなり、その伝来経緯も明確となった。 ②については、曾禰中條建築事務所の建築には、その建築としての様式だけでなく、レイアウト、構造の選択などにおいて、福沢以来の慶應義塾の理念を背景として、官立への抵抗や、私立としての模索や合理性の追求を見出すことができることなど、建築の背景としての思想を検討した。また同事務所の二人の主宰者は、唐津と米沢という「朝敵」藩出身者同士であることも、その文脈として意義を有することを、人脈の重なりを検討することを通して明らかにした。 これらの研究成果は、慶應義塾史展示館における企画展「曾禰中條建築事務所と慶應義塾」（前期6月27日～9月2日、後期10月19日～12月16日）において公にし、図録としてまとめて刊行した。 The Sone & Chujo, Architects, established by Tatsuzo Sone and Seiichiro Chujo, is said to be the largest and best private architectural firm in the prewar Japan. The Keio University Library, completed in 1912, is considered the firm's masterpiece. Seven buildings designed by the firm, including the library, are still in existence at Keio. Traditionally, attention has focused only on the artistic and architectural historical value of these buildings as modern Western architecture. This study (1) expands the scope of research to include all buildings designed by the firm related to Keio, and confirms that there are more than 30 works by the firm, the first of which was completed in 1909, and that some of these works were previously unknown to the public. It was also confirmed that the lineage of architects who worked on Keio's buildings before Sone and Chujo, Architects can be traced back to Katsuya Yasuoka, Daigoro Kanasugi, and Jukichi Fujimoto. (2) The Architectural Principles of the Sone & Chujo, Architects had an ideological affinity with Keio University, which was founded by Yukichi Fukuzawa, a former shogunate vassal who wanted to compete with government schools as a private institution. The study also revealed that Keio's ideology was oriented toward the pursuit of rationality in accordance with the actual conditions of users, avoiding the authoritative appearance and layouts seen in government schools. The results of this research were publicized in the exhibition "Sone & Chujo, Architects and Keio University" held at the Keio History Museum (June 27-September 2, October 19-December 16 of 2023), and published in a catalogue.
Notes	
Genre	Research Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=2023000010-20230224

2023年度 学事振興資金（個人研究）研究成果実績報告書

研究代表者	所属	福澤研究センター	職名	准教授	補助額	300千円 (A)
	氏名	都倉 武之	氏名(英語)	Takeyuki Tokura		
研究課題（日本語）						
慶應義塾と曾禰中條建築事務所に関する基礎的研究						
研究課題（英訳）						
Basic Study on Keio University and Sone & Chujo, Architects						
1. 研究成果実績の概要						
曾禰達蔵、中條精一郎によって開設された曾禰中條建築事務所は戦前最大最良の民間設計事務所と言われ、1912年竣工の慶應義塾図書館（旧館）はその代表作とされる。また慶應義塾においては同事務所の設計による建物が図書館を含め7棟現存している。これらは従来、その近代西洋建築としての芸術的、あるいは建築史的な価値が注目されてきた。その対象は現存建築が主で、拡大されても大講堂（1915年竣工、1945年焼失）が加わる程度であった。 本研究では、同事務所設計の慶應義塾関係の全建物にまで調査対象を拡大し、①その全容を把握すること、②それらに如何なる特徴があり、その特徴が如何なる思想的背景を反映していると考えられるかを検討することを目的とした。 ①については、慶應義塾図書館以前の諸建築の記録を丁寧に検討し、曾禰中條建築事務所の最初の慶應義塾関係建築が第六館（1909年竣工、1945年焼失）であることを確定。またそれ以前の建築にも曾禰達蔵が関与していること、曾禰のあと三菱の建築技師を継承した保岡勝也、福沢お気に入りの大工棟梁として知られる金杉大五郎、ジョサイア・コンドル門下で福沢門下でもある藤本寿吉へと、設計者の系譜を遡って行くことができることが明らかになった。最終的に曾禰中條建築事務所設計の建物は30件以上を数えることができ（病院建築は全て接続しているため数え方が変動する）、中條精一郎が個人で担当した可能性がある建物として野球部合宿所を新たに数えることができることも判明した。そしてそれらの建築の多くは何らかの図面が管財部に保管されていることも明らかとなり、その伝来経緯も明確となった。 ②については、曾禰中條建築事務所の建築には、その建築としての様式だけでなく、レイアウト、構造の選択などにおいて、福沢以来の慶應義塾の理念を背景として、官立への抵抗や、私立としての模索や合理性の追求を見出すことができることなど、建築の背景としての思想を検討した。また同事務所の二人の主宰者は、唐津と米沢という「朝敵」落出身者同士であることも、その文脈として意義を有することを、人脈の重なりを検討することを通して明らかにした。 これらの研究成果は、慶應義塾史展示館における企画展「曾禰中條建築事務所と慶應義塾」（前期6月27日～9月2日、後期10月19日～12月16日）において公にし、図録としてまとめて刊行した。						
2. 研究成果実績の概要（英訳）						
The Sone & Chujo, Architects, established by Tatsuzo Sone and Seiichiro Chujo, is said to be the largest and best private architectural firm in the prewar Japan. The Keio University Library, completed in 1912, is considered the firm's masterpiece. Seven buildings designed by the firm, including the library, are still in existence at Keio. Traditionally, attention has focused only on the artistic and architectural historical value of these buildings as modern Western architecture. This study (1) expands the scope of research to include all buildings designed by the firm related to Keio, and confirms that there are more than 30 works by the firm, the first of which was completed in 1909, and that some of these works were previously unknown to the public. It was also confirmed that the lineage of architects who worked on Keio's buildings before Sone and Chujo, Architects can be traced back to Katsuya Yasuoka, Daigoro Kanasugi, and Jukichi Fujimoto. (2) The Architectural Principles of the Sone & Chujo, Architects had an ideological affinity with Keio University, which was founded by Yukichi Fukuzawa, a former shogunate vassal who wanted to compete with government schools as a private institution. The study also revealed that Keio's ideology was oriented toward the pursuit of rationality in accordance with the actual conditions of users, avoiding the authoritative appearance and layouts seen in government schools. The results of this research were publicized in the exhibition "Sone & Chujo, Architects and Keio University" held at the Keio History Museum (June 27-September 2, October 19-December 16 of 2023), and published in a catalogue.						
3. 本研究課題に関する発表						
発表者氏名 (著者・講演者)	発表課題名 (著書名・演題)	発表学術誌名 (著書発行所・講演学会)	学術誌発行年月 (著書発行年月・講演年月)			
都倉武之・横山寛編	曾禰中條建築事務所と慶應義塾	福澤諭吉記念慶應義塾史展示館	2023年11月			
都倉武之	関東大震災と福澤諭吉	三田評論	2023年8月			

都倉武之	曾禰中條建築事務所による最 初の慶應義塾関係設計図面	三田評論	2023年6月
------	-------------------------------	------	---------